

大正八年五月
新嘉坡官の在番本
邦人役状況三〇〇人

REEL No. 1-1165

0335

受16661

通商公
大正八年
六月十六日

通商公

南洋
事務

公第 五九

通第一課

大正八年五月十三日

在新加坡

領事 山崎 平士



外務大臣子爵内田康哉殿

大正八年六月十六日記録第二部接受

管内在邦人一般状況ニ關スル件報告

管内在邦人一般状況ニ關スル件報告
初布友著任以來在邦民ノ戸口、各種營業
及企業等ニ關スル調査ヲ進メ納其ノ完
成ヲ見ルニ至リ、今回新加坡日本人會ニ於テ

在新加坡日本領事館

坊等、調査統計ヲ印刷ニ附スルニ至成ハ
ニ付右印刷物最ニ及送付置ル處ニ尚
茲ニ管内在邦民一般状況別表ノ通及
具報係條ヲ査閱スル度ニ考 敬告

管内在留邦人一般状況

第六 在留民状況

管内在留民は在留民は在留民なり(一)本邦資本家系
係ノ保護園投業者(二)新高坡ニ於ケル本
邦高店存託ノ代表者(三)兩館多数ノ在来
在留民ノ三階級ニ大別シテ之ヲ觀察スルヲ便
宜トス

本邦資本家系係ノ保護園ハ明治三十九
年一三五号司^ガジョホール^ル河口ニ於ケル一大保護園
園ノ開墾ニ著手シタルヲ初トシ 兩来續々
トシテ^テジョホール^ル河沿岸ニ本邦資本家系係
保護園ノ開設ヲ見、尚進^レテ^テジョホール^ル

在新加坡日本領事館

州内鉄道沿線並ニ其西部ノバトパハレ地方
ニ及ブニ至リ今や坊等邦人保護園ノ主トス
四十有餘坊ニ投業者ル邦人数約千人ニ達シ
從テ坊等保護園投業者ハ在留民社会
中ニ特ニ一階級ヲ出スモノトス

保護園市況ハ大正五年一及六年ニ亘リ一斤
壹弗乃至壹弗五拾仙ノ高値ヲ維持シ

保護園栽培事業大ニ殷盛ノ状ナリトコロ大正
七年五月米凶合衆^ス五^ル於テ保護園輸入額ヲ
制限シタル以來 當方面ニ於ケル保護園市價急
ニ暴落シ一時一斤四十仙臺ニ下リハ保護園
園ニ在リテハ生産費ヲ償ハザルニ至リ 尚^シ保護

護我培業者ノ驚嘆一方ナリ。然レハ古業者
 ノ左急救済策ヲ絶叫スルノ聲ニ却カサレ
 當地英商官憲ニ於テモ之ガ調査委員ヲ設ケ
 十月其報告成リタル時恰モ歐内大戦休戦ノ
 報到ルニ際シ相次テ欧米向キ船腹ハ漸ク回復
 復シ又米玉ノ托ン護護輸入制限ノ撤廢セ
 ラルルニ及ビ護護市價自然ニ復旧趨ク
 見ルニ至リ遂ニ官憲ノ救済施設モ不必有ニ
 帰シ今ヤ護護我培業者兼テ皆護護市
 場ノ前途ヲ大ニ樂觀シタル有様ニレテ邦人護
 護我培業者亦至テ安泰ナリト謂フべシ
 觀テ新嘉坡ニ於テ邦人高商ヲ觀ルニ本邦ニ
 於テ南洋發展ノ氣勢熾ナルニ伴ヒ大正五
 年未及全六年初ヨリ本邦有力ナル高商
 店、新嘉坡ニ新ニ支店出張所ヲ設クルモ
 漸次支店數ガ大正七年初ニ及ビ俄ニ其數ヲ
 増シタルヤ主ナル高商數五十有條。従業者
 約四百五十人ヲ算シ新嘉坡ニ於テ邦人高
 商ノ活躍ハ優ニ内々ノ一勢力タルニ至レリ
 大正七年初以降新嘉坡商業區域ニ於テ
 貸事場所ノ拂込並ニ住宅區域ニ於テ家
 賃ノ急激ナル高騰ヲ見タルハ主トシテ邦人
 高業者ノ入来ニ基因スト謂フモ不可ナク又
 實ニ英商官民ノ驚嘆猜視ヲ招ケル所以

在新嘉坡日本領事館

トス 然ルニ大正七年十一月歐陸大戦休戦ノ
報ニ接キ本年ニ入りテヨリ此等邦人ノ高況俄
ニ不振ヲ呈スルニ至リ 其ノ新規開拓シタルモノ
ニアリテハ今後能ク持續スルヤ否ヤハ多少料
問トセサルヲ得ズ

其多民ノ大多數ヲ占ムル在来住民中醜業奴
女ノ多キ五百餘ニ達シ 新嘉坡以外各地到
ル處 此等醜業婦女ノ數男子ニ比シ絶對ニ
多數ナルノ事 實ハ注目ニ値スベク 且又此等
者ト稱スル者ニ至リテモ 少數ノ中資本主義
者並ニハ規模護謨園經營者ヲ除キ其
大部分ハハ商人乃至行商者ノ階級タルヲ

在新嘉坡日本領事館

免レバ 而シテ所謂中資本主義者ト稱スルモ
多クハ資金ニ乏シク 爲テ講又ハ分テテ(印人
高利貸ノ一團)ノ高利融通ニ依リ 其ノ資本振
確實ナラズ 故ニ我時異常ノ機会トシ 本邦
雜貨ノ賣行 益ナル時ニ方リ 此等資本主義者
未嘗 裕裕ノ形勢ナリシニ 爲テ 戰爭終了シ
急ニ我雜貨ノ賣行 振々レカサルニ遭遇シ 本
年初頃ヨリ最早 其ノ窮乏ヲ曝露スルモノ 頻
々トシテ 表露セリ 要之 在来民一般ノ經濟状態
ハ今者 甚ク微弱ニシテ 途ニ支那人ノ下凡ニ至ル
ニテ 醜業婦女 到ルニ至リ 其ノ群ヲ爲スハ 邦人全體
ノ体面信用ヲ害スルハ 甚クモ アリト 謂ハサル

ハカラズ

第... 在為民社存ハ多共概集

大正四年末新嘉坡其他主たん地方に日本人存
 ノ設主ヲ見ルニ至ルモ創業者日者淺クレテ
 其基礎確立セズ一般ニ日本人存が中心
 團體タルノ趣旨ヲ解セズ執るるに在為民向紛
 争ヲ滋クルルノ因トナレル形勢ナリ不ズ故ニ大
 正七年初先ツ新嘉坡日本人存ノ規則ヲ改
 正レ其刷新改善ヲ促シタル結果幸ニテ其
 基礎確立シ漸次在為民ノ多共中心團體
 タルノ實ヲ得ケルニ至レリ然レトモ新嘉坡以
 外ノ各地日本人存ニ於テハ醜業婦女會負ノ
 多額ヲ占メ又役員中ニ醜業ノ關係ナル者ヲ
 全然排除スルヲ不得此況ニ至リ然レハ姑等
 日本人存ヲシテ多々意義アリ有力ナル團體
 たらシメントスルニハ尙藉スニ時ヨク以テ適當ニ
 之ヲ指導スルヲ要スベレ

在新嘉坡日本領事館

南洋協會高下陳列彼ハ農商務省補助金
 ニ依リ大正七年十二月当地ニ開設セラルルニ至リ
 タル處先是日彼が農商務省經營ニ關スル
 旨ノ邦字新聞ノ報道ハ疾ニ当地英字新聞ニ
 兼傳セラレタルが為日彼附屬ノ多共事業ト共
 ニ英皇官民ノ注意ヲ惹起シタルト云々ナラス
 幸ニテ日彼ノ目的性質等漸次一般ニ了解

内田

月 118
日

ナルニ至リタルヲ以テ唯々後其ノ我面高貿易伸
賜ノ担取散果タルノ事ヲ奉_レテコトヲ希也セザル
ヲ得ス

大正六年七年南洋地方ニ在ルニ邦人發展ノ勢ニ伴
リテ好マシカラザル事然ラ生ジタル内ニ新嘉坡ニ
在ルニ邦字新聞ノ設立行_ハ著大ノ聲言ヲ
囑_レタル一事例トス

大正七年四月以降新嘉坡ニ在テ何等ノ或果
進_レテ備ナクシテ新聞發行ヲ計_ルタルモノ三四
ニ及ビ強_ク在_ル民會ニ寄附廣告等ヲ賜_ヒ在_ル民
間ノ平故ヲ滋生シタル一方ニ粗放ノ記事ト不用
意ノ言辭ヲ掲_ゲテ英皇官憲ノ不信猜_ヲ
惹_キ起_シタルコト再三ラズ遂ニ本年_ノ初_ニ及_ヒ甚
一新聞ヲ除_キ廢_ス刊_スルニ至_レルヲ幸_トス

在新嘉坡日本領事館

2427
11

文書課長

山

大正八年五月卅壹日接受

浄書(校正)原

大正八年六月二日附

印

通送第六八九號

主任

主管 通商局三了

甲申通商局長

農商務省 宛
通商局長

新嘉坡坡山崎物産の月十二日附
付送：関心件知者

大正八年六月 三日記録第二部接受

外務省

(別紙在新嘉坡山崎物産の月十二日附

公文五九 號)本件ニ關スル報告付屬

書寫一通送付ノ事

門 16
3

右正士年八月十日受付一七〇号

公第百四十六号 大正十一年七月三十日

在新嘉坡

信納事 除田 仰次

外務大臣伯爵内田康哉殿

功書記生半島旅行報告書送付一件

本年三月八日貴電第一三號ヲ以テ御許可相成候様旨也

張方之閣ニ三月七日ヨリ功力書記生半島旅行馬車中ノ旨書張

セシメ知合書記生ノ報告ニ當時既ニ提出スルヲ答テ收馬車

展覧會アリテ南洋南洋領事會議ノ南洋領事會議等提出

外務省

正列ノ旨儀ナリ事情アリ今日ニ及ビ知合書記生

リ該報告書提出アリ之付正列ニ通及御返付候旨

陸軍省相成候旨候中御返付候旨

原書ニ及リ 鈔取物アリ

各事事情(並候旨)

(戊戌用紙)

8.346

155 總月二十通略

半島旅行報告

旅行目的及目的地

半島旅行目的ハ錫ノ視察ニシテ兼テ其地
 方ノ在留民情況ヲ察知シ領事館事務取扱上ノ
 便ニ供セントスル事ナリ目的地ハ老隆政一係、太平、
 南チ中トスル地方ナリ此等地方ニ於テ錫ノ産地ナルベラ
 州一係、太平ナリ
 短時日ニシテ目的大ナリシハ其ノ産地ヲ見ヤタル概
 リ詳細報告スル事ハ出来ハズ遂ニ此旅行中
 得タル錫情況、在留民情況ニ付概畧次ノ如シ
 一老隆政一係、太平等ヲ先旅行シタル他ノ者
 報告ニ據リ一係、太平ニ戻ル

錫産地ヲ見ル (Paper Investigation)
 在新加坡日本總領事館

一係、太平州ノ首都ニシテ錫産地中ノ地ナレハ主トシテ
 錫業関係者多ク各商店ハ錫等ヲ相手トシテワアル統
 果錫價ノ暴落ト共ニ且下等シテ現狀静ニアリ
 知人ハ附近ヲ含シテ二百人位 錫業関係者ナリ 護謨
 栽培業者 雜貨商 醫藥等ナリ且下ノ不況ニ際
 シ殊ニ苦境ニアリ倒産破産者他國人ヲ割合多
 シ日本入會ヲ組織シテ知人相互ノ向上便宜ヲ計リ
 シアリ此近時幹部ニ其人ヲ得ヤル為メカ在留知人
 ノ向極面力カラス分崩スル危険ナリ困憊ヨリ来ル事情
 上ノ経緯其ノ他種々原因ハ伏在シテ其ノ根本
 原因ハ知人カ皆博足腰ニシテ土着眞面目ニ活動ス
 ルノ親交ナキナリ
 五月五日松仙ノ會費ノ滞細在留民總務ノ三分

1587 二月 十四日

7

少ニ及ビ目下滞納金四五百弗ニ達シ日本人會
維持困難ヲ感シツツアリ

娼婦ハ約ニテ人六戸ヲ構ヘ目下ノ如キ不況ニ際シ
生活スル事能ハストノ理由ノ下ニ英地方官憲ヲ

コトセシメテ得タル娼婦ナリ在留中ニハ娼婦ヨリ
借賦セルモノアリ娼婦ハ此ノ外ニ清ヲ請求スルモ

返済時ハス爲メニ生計上余儀ナクモ營業ニツ
ツアルモノナリトノ理由ヲ稱ニ廢娼ヲ拒ム向アル状

ハ地在留民ハ此ノ運動ニテハ廢娼ニ力ヲ加シ
護謨栽培業者ノ困憊ハ半島ニテハ甚シク

日本稅領ハ昨年暮迄ハ租者ノ發行アリ支那人
馬來人等ノ顧客アリシモ今年ニ入リテハ其ノ發行亦

減シ状態ナリ玩珠ハ尙相當ニ發行アリ
在新加坡日本總領事館

麥酒ハ半島ヲ北スルニ從ヒ本邦品ハ漸次減ナリ
逸品英國亞市場ヲ独占ス邦品朝日ビールハ左

地守田村ニ於テ三井物産新嘉坡支店
ト特約販賣シ相商ノ需要者ヲ吸收シツツアリ支那

人ハ尙本邦品ヲ購ヒ排斥ノ模様存スルモ白人及
馬來人等ニハ甚ク需要セラル

本邦日瑞在留會社 (Taiping Ten Measuring Co. Ltd.)
知人ハ僅カニ六七名護謨栽培業者雜貨商旅館

營業者等主ナルモノナリ現時ノ不況ニ際シ半島到
遊如窮境ニ瀕スル情態ナルニ於テ知人ハ極力手配シ生計

ヲ續ケシメテ蓋シ何事ニ付テモ至極ニ其面目ナレバ
業好況時ニ於テモ一獲擧げ金ヲ蓄テ想スル事ナク

從テ資金ヲ他別方面ニテ護謨園ヲ買収シテ事ナク

4

只相寄餘祐アルノが自己所有金ノ限度ニ於テ護護
 園ヲキニ入レテ經營シツツアルモノナレバ只生活費ノミヲ
 得レバ安樂ニ生活シ得ル情態ニシテ他地方邦人護
 護業者ノ如キ窮地ニ非ズ其々他雜貨商等モ其
 規模比較的小ナル丈夫ノ大者衆ノ地位ニアリ律才
 事地日本人會ハ基礎確實會多開至ニ日本人
 會ハ有力盡力ニシテ模範トスルモノナリ
 邦邦美酒等類ニト市場ニチシ
 娼婦三名日本人會ハ極力廢娼運動ニ努メ將來
 新事ヲ行ハセシメテ下切折ル事ヲ爲シ解才官堂等ニ得
 得ト去テ近キ中絶減下期ニ得ヘシ

征南市口

征南市ハ人口約十五萬半島北部ノ主要港ナリ
 在新加坡日本總領事館

支那人十萬 印人四萬 馬來人一萬 邦人ハ約三百五十名
 半島北部ノ輸出港洗石ニ流氣アリ主ナル輸出品ハ錫
 護護カタパー利也 藤ニシテ就中錫ハ無比ノ輸出品ヲ
 占メ世界ノ錫產額ノ四割ハ半島ノ產出ニシテ其ハ大
 部分ハ征南ヨリ輸出サル所地ニハ錫ノ大精鍊所アリ
 邦人ハ醫師一馬真業 雜貨商等不尠相寄カシ洗石
 ニシテアリ就中雜貨商等ハ勢力ニシテ經營方格ナリ
 此等仲並熱心ニ努力シツタリ

日本人會ハ會費二百名捐出カ建物を有シ該島
 機關カ中先方ニ備付テ近動見ルハ其ノ力ナリ

英國半島統治

英國半島統治ノ目的ハ少クモ現在ニ於テハ半島其ノ
 一ノ存ニ非ズンテ英國其ノ一ノ中ニ存在スルモノニテ
 半島ノ天然ノ富澤ヲ開キテ本國ニ於ケル商工業ノ發
 展ニ資セントスルニアル事ハ疑ノ第他ヤシ然レバ馬來半島
 ニ於ケル英人ノ經營ハ何物ヨリモ先ヅ道路ノ修理鐵道
 ノ敷設、港灣ノ改築等ニ全カク傾注スルモノ如ク撰
 言スレバ如何ニシテ此ノ天然ノ原料ヲ輸出シ如何ニシテ
 本國ニ業々資セントカトノ一策ニ注意カク傾注セルモノ如シ
 天然ノ資源ヲ以テ英ノ土地ノ富ヲ進メ産業ヲ起シ土
 人ノ智能ヲ啓蒙シ他民ノ生計ヲ向上セントスルト云フ方
 面ハ至ッテ閑却セラレタルヲ思ハシム

在新加坡日本總領事館

備案ハ加成アレバ此ニ比シ文明ノ施設等ハ極メテ貧
 弱ナルハ誰シモ心付ク事ナリ半島ニハマツテ誇ル心ヲ製
 造工場ナク半島ハ依然田舎トシテ世界ノ文化ニ取リ
 残サレタリ

土人ハ一日勤ヲテ十日遊バノ情態ニシテ若干業主義
 友邦人ハ利己主義本國ノ統治主義ハ如斯ニシテ
 傍且文化ノ治ニ得テク様尚長ク田舎トシテ居残ラン

馬來半島ニ於テ自他共許々シテ情ルハ半主義物ハ物
 上保護ナリ錫ハ現ニ世界差額ノ五割ヲ占ム大保護ハ
 世界積年差額上カ吸ナルヲ打シ内カ割ヲ占ム共ニ世界
 市場ヲ左右スルカ力ヲ有ス大保護ニ依リテ後述スル大保護
 主義ヲハ今日旅行ノ目的ニ非ラホレハ者以テスル事トシ

158
165
70

櫻月二十通略

9 8

159

水の外 子ヒハ、ユカテ、魚類、カクハ、イロ、米、クヒ、オカ、鉄
 等、何、海、種、ナ、ク、多、シ、唯、未、見、之、運、ノ、敷、達、先、方、ナ、ラ、ガ、ル
 加、本、方、之、完、全、ニ、南、方、ス、ル、事、ヲ、得、ル、目、下、英、米、局、ノ、
 討、畫、^{ニ、年、ヲ、}東、海、岸、鉄、道、敷、設、完、成、ノ、曉、ニ、ハ、半、島、ノ、
 產、出、ス、ル、^{ニ、年、ヲ、}實、ハ、莫、大、ナ、ル、セ、ア、ラ、シ、
 試、ニ、是、等、之、產、物、ノ、大、輸、出、港、タル、新、嘉、坡、^{ノ、}從、南、
 西、港、ノ、水、入、船、舶、岫、^{ヲ、}見、ル、シ、臺、^{ノ、}岫、^{ノ、}新、嘉、坡、
 岫、ハ、千、四、百、八、十、七、五、岫、^{ノ、}從、南、^{ノ、}岫、^{ノ、}九、千、百、
 二、十、岫、^{ノ、}達、^{ノ、}其、^{ノ、}實、^{ノ、}情、^{ノ、}況、^{ノ、}一、端、^{ノ、}ヲ、知、リ、得、ハ、シ、
 在 新 嘉 坡 日 本 總 領 事 館

在新嘉坡日本總領事館

五月二十通商

11 10

馬來半島錫鑛業

錫鑛業沿革

半島錫鑛業ニテ旅行スル者ハ誰シモ馬來半島ヲ南北ニ縱貫セル山脈ノ頂部ヨリ斜面ニ降ルテ赤色土壤ノ露出セル多ク跡ニ心ヲ州ニ到レバ錫鑛地方ニ此ノ露出ニカ無数ニ連ルヲ見ル也土人其外他ノ手掘採錫ノ根跡ナルヲ知ラバ馬來半島錫鑛包藏ノ度ハ推知スルヲ得ベシ

馬來半島ニ於ケル錫鑛ハ南拓初期ハ不明ナレバ數世紀以前既ニ土人ニ依リテ採掘セラレタル跡アリ馬來半島中最近ニ露出ナリト稱セラルル州ハラハ州ナル名稱ハ錫ノ語原ト何等カノ關係アリト稱セラル

銀ノ意ニシテ數世紀以前此ノ土地ニ移住セル土人ハ當時文化ノ程度低ク錫ナル金屬ヲ知ラズ銀ナリト誤解シタル爲メ

在新加坡日本總領事館

錫ノ多クアル此ノ地ヲ時ニテハラト云ヒ今日ニ及ビタルモノナリ但シ酋長ノ支配下ニアリシ當時ハ屬地的鎖國的ナリシ爲メ強クト開發セラレザリシガ其後支那人ノ移住ニ依リ採掘セラレ進々發達ノ緒ニ著ケリ

十九世紀ニ入り英國保護下ニ居スルヤ富源ノ開發ハ南洋旅ニシテ錫鑛ハ南拓ノ先導者トシテ入ルニ至ル多ク支那人ノ注意ヲ惹キ以テ馬來半島錫鑛業ハ著シク發達セリ

半島ニ於ケル錫鑛ハ採掘容易ニシテ手掘ニ依リテ巨利ヲ擧ゲ得タリシカバ錫鑛業ハ是等支那人ノ經營依リテ漸次盛大ニ赴キ十九世紀後半ニ於テ世界最大產地ト稱セラレシニ至レリ斯クニテ支那人ニ依リテ開發セラレタル半島錫鑛業ハ其後新知識ト大資本トヲ有ス

12

保

ル白人ヲ呼ビ從來ノ個人經營ハ大規模ノ會社組織トナリ
其ノ採掘法モ却進ナルヲ據ヨリ大仕掛ノ機械ヲ改メリ
面目ヲ一新シ現在ニ於テハ其ノ雄ヲ世界ニ誇ルニ至レリ

馬米半島ノ錫鑛

馬米半島ノ錫鑛地ニ於テ見ルニ古來修地ニノミ限ラレ
タルモノナリ是最モ手近ニシテ採掘セ簡便左程ノ知識
ナクシテ採掘スル事ヲ得ルカ爲メナリ

然レ最近錫ノ需要増加ノ爲メ修地ニアルモノナリ
ハ不充ナルト一方採掘ニ并スル機械的知識ノ進歩ニ
依リ鑛脈中ノ高所ニ至ルニ採掘スルニ至レリ四五ヶ峽
ノ高所ニ至テ採掘セラルルヲ見バ漸次錫鑛ノ減少シテ
アルト斯業ノ衰進ハ亦テ推知スルニ難カラズ

錫鑛

在新加坡日本總領事館

半島ノ産額ハ全世界産額ノ四十%以上ヲ占ムルニ至レル
モ近來年々減少ノ傾向ヲ示セルが是ハ包蔵セル錫ノ減少
ニ原因スルモノナレバ採掘方法ノ改良ニ依テ尙半産額
ハ相當維持セラレフアリ即チ是良錫國田ハ區々掘
リ盡サレツアルモ過去ニ於テハ含有割合少キ地トシテ看
過シタル地方ヲモ現在ニ於テハ人智ト機械カトヲ以テ
採掘シテ相當ノ利益ヲ得ルカ爲メナリ
現情右ノ如クナレバ今後森林ノ伐採ト交通機關ノ發達
ト等ニ新良鑛區ノ擴大ノ希望アリテ左程悲觀スルヤ
ノ區非ズ近時錫價ノ低昂ト共ニ本事業モ往年ノ如ク
沈滞ナク各會社共事業縮小ノ已リ無キニ至リ從テ産
額減少ニ連度ヲ加ヘタルニ船運市價ノ回復スルニ至ラバ
馬米半島ノ事業ハ尙然沈滞ヲ呈スルニ至ラン

14

162
6

今世界主要産地ニ於テ最近五年間ノ産額ヲ示セバ左ノ如シ (單位噸)

地名	1916	1917	1918	1919	1920
馬來聯邦	1916	1917	1918	1919	1920
Indochina	43,870	39,833	39,370	36,867	34,905
Polynesia	21,145	29,858	29,280	27,500	
British	14,548	13,246	13,247	11,638	
Belgium	7,800	8,765	9,154	8,835	
Germany	5,075	6,510	6,000	5,000	
France	3,800	11,053	8,680	8,000	
U.S.A.	17,870	19,018	17,793	16,053	
Others	114,108	124,283	124,283	113,893	113,416

右表 Malaya 及 馬來聯邦州ヲ指シタルモノニシテ馬來
在新加坡日本總領事館

半島以外他非聯邦州 (Non-F.M.S.) あり然レテ錫ノ主産地ハ聯邦州ニシテ全半島産額ノ九割五分以上ヲ占ム今者著書ニ據リ一九二〇年乃至一九一九年ノ非馬來聯邦州ノ産額ヲ示セバ左ノ如シ (單位噸)

一九一〇年	四、一〇四噸
一九一七	三、三八一噸
一九一八	二、八五一
一九一九	二、三二四

馬來聯邦州中ノ主産地ハ聯邦州ニシテ英領馬來全産額ノ六割以上ノ産出アリ

聯邦州ノ錫事業
聯邦州ノ錫業ハ目下主ニ白人ノ經營ニ係リ進歩セリ然レテ一般ニ行ハレ他州ノ錫業ニ比シ著シク發達セリ

號月二十通第

首序一第ハ錫業ノ中心地ニシテ周圍各地ニ産スル錫
 ハ此處ニ集メリ鐵道ニ依リテ彼南新嘉坡ニ輸送セラル
 馬來聯邦州錫業會議所ノ所在地ナリ
 最近五ヶ年間に於テ馬來地方ノ輸出セラルル額ハ次
 ノ如シ

一九一七年	三九、八三三
一九一八年	三七、三七〇
一九一九	三六、九三五
一九二〇	三四、九三四
一九二一	三四、九七〇

四目下ノ錫價
 戰後低落極メタル錫價ハ戰後初期ニ於テハ政府ノ
 買上ニ依リテ稍々上向トナリ一〇〇フル百粒五弗トナリ

在新嘉坡日本總領事館

タレ是是一時的ノ現象ニ過キスシテ二月中旬ニ於テハ百
 弗ニ下落セザルミナラズ二月五日政府買上ノ事停止セラ
 ルニ翌日ヨリ市價ハ下向トナリハ粒四弗ニ落テ其後
 市價ハ續落シテ三月初旬ニ六前米箱年ノ最低線ニ
 至下落シテ七粒四弗トナレリ
 今昨年ニ於ケル市價ヲ見ルニ最高ハ五月下旬ノ九粒
 二弗ニ對シ仙最低ハ八月下旬ノ七粒二弗ニシテ一箇
 年平均ハ八粒二弗ニ對シ仙四粒四仙ナリキ
 一九二〇年ノ平均ハ百四十八弗ニ對シ仙十一粒九二〇年米ニ對シハ尚
 高末ガ錫價ノ暴落ニ依リテ窮乏ニ陥リタル新業者
 救済ノ意味ニ於テ買上ヲ續行シ居リ市價ハ序
 少釣上レケラレタ居タルニ突如買上ヲ中止ノ事アルヤ
 市價ハ俄ニ下落シ今年ハ比ナキ低價ニ下リ各業

者ハ護謨業者ト同程度ノ苦シサニ陥リ事業縮少一
己ハ無キニ至リ目下静ノ状態ニアリ
当地針葉組合ニ於テハ此ノ不況ヲ切實救ケントシ極力
生産費ノ節約ヲ行ヒテワアリ即チ

1. 工力償銀ノ引キ下ガ
2. 地代ノ低下情願

3. 食料品價格ノ引下ガ
4. 錫輸出税ノ中止情願

5. 鐵道運賃ノ引キ下ガ
6. 薪炭價ノ値下ガ

等シキ時極力運動シテワアリ
錫探鑛口

在新嘉坡日本總領事館

錫鑛トシテハ錫石層錫鑛自然錫等アレ也
錫石ニ限ラル錫石ハ鑛脈ヲナシテ存在スル也
トシテ錫ヲ含テ存在スルモノ (Aluminous tin) トアリ前者

ハ噴火作用ニ依リテ生成セルモノニテ花崗岩 石灰石中
又ハ其ノ隣近ニ是見セラル普通ニ炭素ノ層ニ
等ト結合シテ存在スル故ニ錫鑛精鍊ニ困難ナリ

沙針ヲナスモノハ錫鑛脈が河水作用ニ依リテ山崩落シ
凡化水化學ノ作用ヲ受ケテ粘碎シ原位置ヨリ移

動シテ沈堆シタルモノナレバ多クノ場合河峯岸海濱
沖積層中ニ是見セラル從テ不純物トシテ結合スル

箇層ナル洗滌ニ依リテ分離スル事ヲ得
錫石ハ錫分ハ 60-75% Aluminous tin

70-75% ナリ

龍川二十道

脊

馬來半島ニ於テハ半島ノ背髓ヲナス山脈地方ヲ指シ
 ハンコセランゴール州ノ方水産ニ多ク
 邦手野一帯ニ *Aluminium* ノ産ス *Gold* 産ス
 含有量少ク且稀鉄ニ困難ナル關係上殆ド顧ラレナリ
 此近來稍々採鉄セラルル地方ニ產鉄ハ大部分 *Aluminium*
 鐵ナリ半島ノ西端南洋地方ハ是ニ富シ到ル者ニ甚ク
 セラル者蓋地下三四尺ヨリ二百五十尺ニ及ブ
 鐵ノ稀鉄作用ハ稀鉄及洗鉄ノ一級ニ分テテ得令
 多地方砂鉄ノ採針ヲ略述セシ
 現在行ハル砂鉄ノ採法ハ大体左ノ四種ナリ
 ① *Stoking and underground mining*
 ② *Open-Cast Mining*
 ③ *Hydraulic Mining*
 ④ *Bucket Loading*
 此ハ法ハ稀鉄ノ採所ニ依リ又ハ細鉄ヲナシテ下部
 ニ斜交ル場合ニ行ハル也此ハ此ニ依リ坑道ヲ
 作り地下水ヲ汲上げ且連凡ノ設備等ヲ要スル上
 ニ砂鉄ヲ産スル土地ハ地質軟ク陥落ノ惧等アリ其
 割ニ初果上ラサレバ殆ド行ハレズ稀ニ支那人ノ行フアル
 ニモヤカカストノマニニ
 ⑤ *Open-Cast Mining*
 所謂系統大橋ニシテモトシテ支那人間ニ行ハル白人經營
 ノ會社中モセテ採用セルモノ少カラズ
 支那人ノ採掘方法ハ多數ノ苦力ヲ使役シテ鐵又ハ鉛
 ナシテ採掘シセテ他ニ運搬長傍出スル地下水雨水其

在新加坡日本總領事館

鐵丹二十道

22

碼? 2)

他ノ端水ハ木製ノ唧筒ヲ備ヘテ排水スルモノトス
 此ノ方法ハ徑管ヲ容易ニシテカ資本ニテ是ルカ故支那人
 老老ハル錫鑛場ニシテ比較的ニ上層部ニ存在スル
 ハ旧式ノ唧筒ヲ利益支分アリシ也今日ハ如ク各錫鑛場
 莫シニ錫田チチ等ナルモノトモリ以テ之ハ際ニ於テハ生産
 費膨張シテ徑管困難トナリタル結果近時機械力
 ヲ利用スルニ至レリ *Vertical Pump* ハ一例ナリ錫鑛ヲ
 含ハ土砂ヲ吸上ガテ流錫槽ニ流スモノナリ
 a *Hydraulic Pumping*
 此ノ方法ハ水力ニ依リテ稀薄地ヲ崩壊シ錫鑛ヲ採集
 スルモノナレバ錫區附近ニ河流アルチチ等スハ州等
 ニ於テハ數十哩ノ遠方ヨリ鐵管ヲ以テ導キ来タリテ
 利用シテアリ此ノ概畧ヲ述フレバ高所ヨリ水ヲ鐵管
 ニテ導キ来タリ漸次鐵管ヲ細クシテ水力ヲ強クシ
 ニテ水ヲ放射シテ土砂ヲ崩壊スルモノナリ
 水層ハ十呎程度ノ口径ニ付 *Vertical* ニテ一箇月約三
 立方碼ノ土砂ヲ崩壊スル事ヲ得一立方碼ノ土砂ヲ
 崩壊スルニ要スル水量ハ約三ヤリガロシナリト云フ
 崩潰シタル泥砂ハ吸上ポンプニテ地上ニ設備シアル
 流錫槽ニ吸上ガテ流錫スルモノナリ
 此ノ方法ヲ施行スルニ時ニ設備費ヲ要スレバ一英
 十備付スルニ於テハ數百人以上ノ苦力ノ仕事ヲ一人
 テナス事ヲ得ルカ故ニ採掘費ハ僅少ニテ是ルト云フ
 主トシテ沖積層中ニ岩角ノ露出セルカ若クハ地質一
 様ナラズ *礫石* 等多ク混シ他ノ方法ニテハ作業困難
 ナル所ヲ採掘シ得ルノ利益アリ

在新加坡日本總領事館

166
1175



號月二十年道隆

ハ地質後雜ニシテ沖積層ノ底床ハ石灰岩ニシテ凹凸
 ニ富ミ錫鑛ハ其ノ却内ニ在ルカ故他ノ方格ニテハ作業
 困難從テ大都會ノ厚社ハ皆昔昔格ヲ行ヒゴフアリ
 土砂山崩壞ハ甚ク壯絶ノ既アリ

40 *British Redding Mining Co.*

本格ハ *Wetleyan Iron Redding Co.* 一九一二年ニ

採用シタルヲ喘免トス其後漸次ニ認メラレ現在ニ於

テハ此々方格ヲ行ヒゴフアンモノ新格採掘機ニテ生ニ

及フト云フ本格ハ採掘地ニ遠方ノ廣サハ非サノ地ヲ

掘リ出ニ爰採掘機ヲ掘ヘ池底ノ土砂ヲ浚濬スルモノナリ

浚濬セラレタル土砂ハポンゴニテ貯ム上カラレ機内ニ備

ヘラレタル後鑛槽中ニ吐米出サレ鑛盤セラレモノナリ

浚濬機ノ採掘能力ハ日ハ漸ク乃至於此方格ナリ

在新加坡日本總領事館

浚濬機一台四五石方ナリ此方格ハ支那人ノ手掘セ

ル地方ニシテ上層部ノ之採掘ニテ放棄セラレタル餘田

ニ用フレバ有利ニ尚採掘ヲ繼續シ得ルニ微シク今

益々採用セラレハシ

本格ハ沖積層ノ底床平坦ニシテ土壤中ニ岩介在

地方ニ限ル太平地方最良ニ又採掘地ハ低地ナル

ヲ要ス土水ノ供給關係ニ依ル高地ニアリテハ採掘ノ

装置ニ依リテ水ヲ浚濬地ニ引上知ヤルカラサルノ不便

アリ馬更平島ノ沖積層地方ハ概本低地ニシテ海水ニ

甚ク便利ナリ水ハ砂鑛質ナルト社土質ナルトニ依リテ

需一層ノ差アリ此土質ノ土地ニ於テハ主方格ノ

土地ヲ採掘シ浚濬スルニ三ヶ加ロシ以上ノ必要アリ

四 洗鑛 ○



號月二十通商

出別述各方法ニ依リテ採掘セラレタル各錫鑛ヲ含ムル土
 砂ハ水ト共ニ流鑛槽ニ流サレ錫鑛ハ土砂ト重
 キカ故ニ流鑛槽中ヲ洗ルル間ニ底ニ沈澱ス流鑛槽
 ハ稍々傾斜セル大樋ニシテ底部ニハ一箇置キ位ニ
 ニ時程ノ高サノ仕切アリ沈澱セル鑛ハ此處ニ殘留ス
 一日一二回沈澱殘留セル錫鑛ヲ集ムル採留鑛ハ
 錫鑛ノ外ニウオルフラム、電氣石、磁鉄鑛ヲ含ムル
 運錫鑛ハ二三割ナリ
 是ヲ何處トナク水ト共ニ樋中ニ流シ絶ヘズ不純物ヲ
 除キテ錫鑛ヲ集ムル最良ニ遠ク格ニテ比較的輕キ
 不純物ヲ除キ時ニ磁石ニテ更ニウオルフラムヲ除キ
 仕上ヨク得 其カ洗鑛作甲ハ支那人若カ馬來人
 トノ僑員ニシテ仕上品ノ錫ノパーセンテージニテ屑銀ヲ加フ
 ヲ並道トス
 錫鑛ノ仕上品ハ七〇乃至七五%ノ錫ヲ含有シ七五%
 ノモノハ一等品トシ七〇%前後ノモノハ二等品トセラル馬來半
 島全產額ノ八割乃至九割ハ一等品ナリ仕上品ハ乾燥シテ
 麻袋(約八拾斤)ニ入リテ精鍊會社ニ送ラレ
 馬來半島ニ於ケル一五方嗎ノ採鑛量ハ前年前ニ於テ
 ハニ封度乃至三封度ニ上ルモノアリタレ近時好良錫田
 ノ掘リ盡サレントスルノ情態トナリ採鑛量著シク減少
 シ一封以上ニ昇ルモノナシ
 六、各國ノ勢力カ
 馬來半島ニ於ケル錫鑛業ニ對スル支那人ノ勢力ハ大貴
 本ア有シ機械カヲ利用シテ經濟的採掘法ヲ採用ス
 ル白人ニ侵蝕セラレツルニ現 在尙馬來半島全

在新加坡日本總領事館

號月二十通商

産額ノ三分ノ一ヲ占メ其ノ勢力尙我ニ在リ難シキ
 二 *Wan Sang* *Yan* 如キハ優良錫田ヲ有シ其ノ採
 針高約百塊ニ達スルト云フ然レモ支那人ノ採錫者ハ
 多ク小採錫業者ニシテ現在ノ如キ不況時ニ際シテ
 ハ其ノ採利進々白人ノ手ニ移リシヤルモハ如シ
 莫家ノ人ノ勢力ハ年々支那人ノ勢力カニ取テバリ其ノ
 投資額ハ支那人資本以上ナリ是ニ屬スル會社合計
 三十七ニシテ錫業ニ對スル莫家ノ勢力現在ニ於テハ最
 大ナリ遠洲企業家ハ馬來半島ガ錫ノ產地トシテ
 知ラルルヤ早ク其ノ有望ナルニ着眼シ多年ノ經驗ト資
 本トヲ擁シテ來リ半島錫針業ニ貢獻ス大ナリ
 其ノ他亞米利加人乃佛南西人ノ經營ニシテ會社モ
 レモ其ノ勢力微々ナリ

在新加坡日本總領事館
 好年前ノハ知人ノハ採針業者アリタレ現ニ於テハ
 ナシ

採針費
 一九一九年 *Spoken in Dudgeon Co.* 報告ニ依リハ錫針
 担當リ四拾五担年マラヤニトシテ會社ノ採
 針費ハ主方嗎方リニ幾七仙九六ナリト採針量ハ五
 斤トシテ計集セバ錫針担當リ五十五担九十二仙也ニ
 採費(間接)ヲ加算スル錫針原價ハ約五担九十二
 仙トナル是英領馬來ノ錫針原價ト見テ誤ナカレシ
 一九二〇年末ニ至リ政府ニ於テ新業ヲ設ケ
 採針費ハ買上値假ハ百担五担台ナリヤ年九七高
 収支償ハズト移スルノアルヲ見レバ或ハ担當リ七十
 位ナラカ兒ニ角採針費ハ各學社英ニ依リ異リ確実ナ

號月二十通臨

170

31 30

不明ナリ

錫精鍊

錫精鍊ハ以前ハ各埠鐵所ニ於テ行ハレタリシガ埠鐵
 盛トナルニ及ビ精鍊ハ漸次事業者ノ手ニ納メラルニ至
 レリ馬來半島ニ於ケル精鍊ハ支那人ノ手ニアタリタル方
 情却難ニシテ精鍊能力極メテ低シ大規模ノ精鍊業
 者ハ海峽殖民地ニアリ海峽殖民地ノ精鍊能力ハ五
 萬五千トシニ及ビ世界精鍊能力ノ三割五分ニ及リ世
 界ノ一ナリ馬來半島差支ノ足ラズシテ海外ノ
 錫産地ヨリ錫鐵ノ輸入少カラズ

（精鍊ノ事ハ南洋諸島ニ在リ）
 馬來半島ノ錫業ノ將來

馬來半島ニ於ケル錫鐵業ニ對シテ最近ノツカラナルハ
 在新加坡日本總領事館

其ノ產出高減少ノ傾向ナリ現在ニ於テハ埠鐵ノ
 改良等ニ依リテ其ノ減少ノ程少ク保タル所ナリ
 後ニハ更ニ減少スルニ非ズヤト見テマシムル蓋シ
 良錫田ノ掘リ盡サレテ漸次劣等ナル錫田ニ移動シ
 乙アルカ爲メナリ

高朋

依テ今後森林ノ開發等ニヨリテ錫田ノ發見アルカ
 又ハ埠市價ノ昂騰ヲ見ルカ何レカラ見テ得ルニ非
 ズバズ斯業ハ今日ノ地位ヲ脱スル事能ハサルハ今日ノ
 知者ニ屬ス馬來半島ノ錫鐵業ノ盛衰ハ懸クテ以テ
 上ニアリ

錫

館事領總本日坡嘉新在

此假申進受

敬具

(印刷物一部送付)

館事領總本日坡嘉新在

通商
移

公第
九號

大正十二年一月八日

在新加坡

總領事 浮田 邦次

外務大臣伯耆内田康哉殿

大正十二年一月九日 記録係

新加坡概要送附之件

返復書地二寄港之夕山谷口司合官
引率、航練習艦隊、乗組員補生
参考用トシテ土地日本、人、合、於
印刷配布シタル参考印刷物何等
申考、片ニ及送附、其、条、片、查、收、相、付

新嘉坡概要

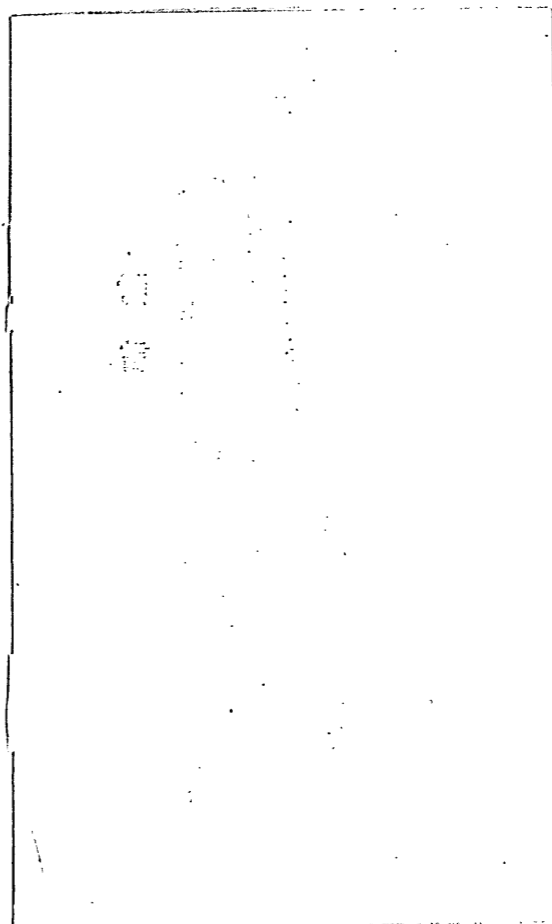
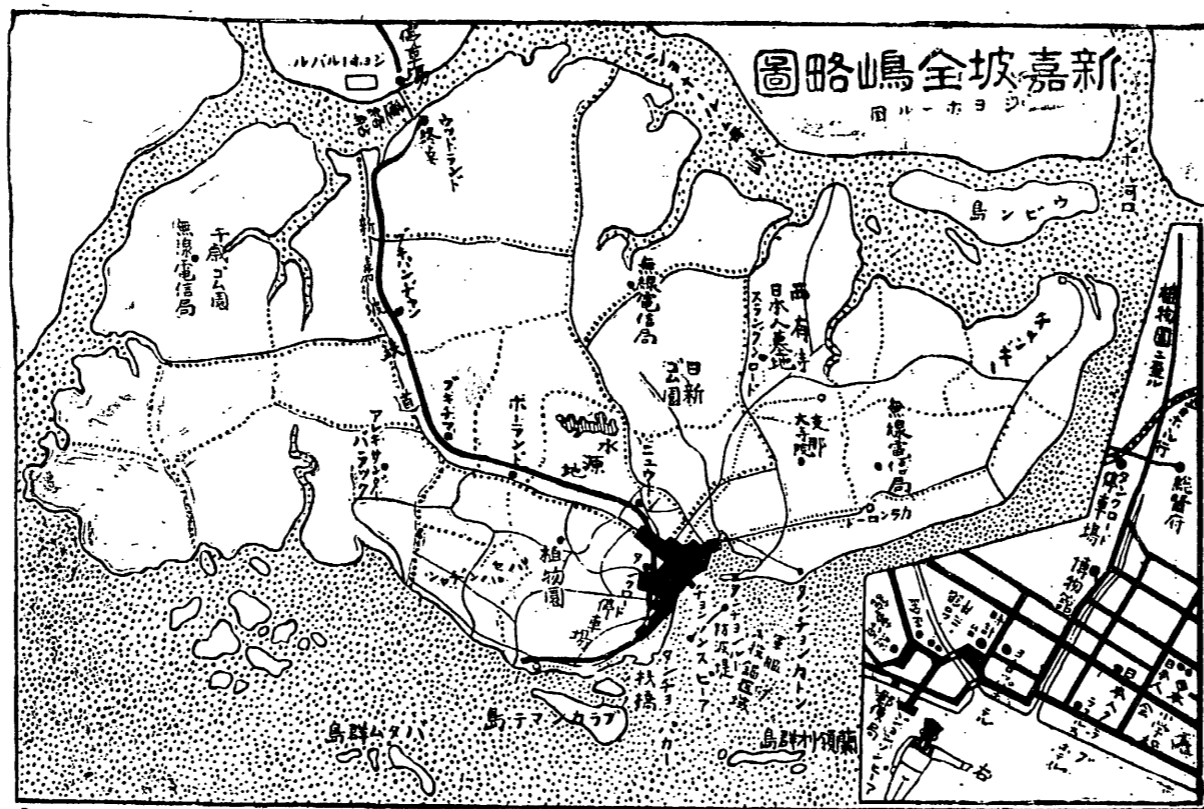
REEL No. 1-1165

0361

新嘉坡概要目次

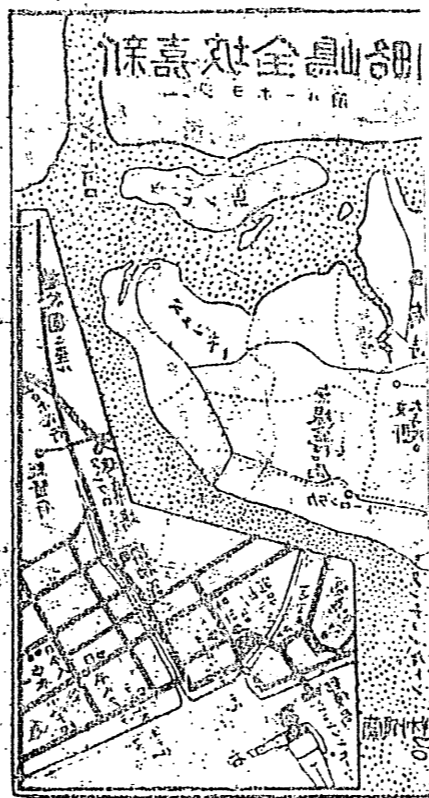
一、歴史沿革	一一、交通
二、政治上の區分	一二、通貨
三、統治機關	一三、港灣
四、新嘉坡概観	一四、在留邦人の情況
五、氣候	一五、總領事館及在留邦人各種團體
六、衛生	一六、各國領事館
七、人種、人口及宗教	一七、主なるホテル及デパートメントストア
八、教育	一八、内外新聞雜誌
九、軍備	一九、近郊遊覽所
十、貿易	二〇、土産物

附



REEL No. 1-1165

0364



一、歴史沿革

第十五世紀以降、葡、西、蘭、英の諸國は相次で印度洋より支那海方面に遠征し、馬來半島附近に於て政略上の競争盛んに行はれたりと雖、新嘉坡は一八一九年英國の占領する迄顧みらるゝ處なかりき。

十八世紀代此方面に於ては和蘭の勢力優勢にして英國は之に對抗して優越の地を占め、朔を東方に唱へんが爲形勝の地を得るに努め、一七八六年キャピティン、ライト馬來地方を探検し、始めて彼南を買収したり。

此時に當りスマトラ島ベンクレーレンの副知事たりしトーマス、スタンフォード、ラツフルス氏は、彼南の地、北西に偏して朔を爲すの資源地に適せざるを觀破し、新嘉坡の位置の優越なるに着目し、時の柔佛國王と交渉し、遂に一八一九年條約を締結し

六十萬弗の報償金及國王に年々二萬四千弗の年金を與ふる條件の下に二月六日始めて英國々旗を翻せり。

斯くして英國の新嘉坡を占領するや、權力爭奪の敵手たる和蘭の反抗激烈なりしかば、英本國は頗る之が經營に躊躇し遂に之を放棄せんとしたるも、ラツフルス氏は頑強に之に反對し、責任を自己一身に引受け本島經營の目的を貫徹せんと努めたる結果遂に一八二四年英蘭間の妥協成立し、茲に確實に英國の有に歸せり。

爾來四年間ベンタールン殖民地政廳の管轄下に在りしが、次で東印度會社の經營に移され、印度政廳の成立と共に其下に置かれ、一八六七年始めて皇領殖民地として本國殖民大臣監督の下に總督を置き、彼南及馬刺加と共に海峽殖民地と稱し以て今日に及べり。

實に新嘉坡建設の偉勳者はラツフルス氏にして、今日猶市中各種の建築物其他にラ

-(2)-

ツフルスの名を冠するもの多く、タウンホール前には氏の銅像を建設し、以て其功績を紀念せり。

(註) 新嘉坡とは馬來語「シंगा」(獅子)「ブラ」(島)即ち獅子島の意なりとする説と「シンガー」(訪れる)「ブラブラ」(要求する)即ち船船が糧食等の需要品を搭載する爲寄港する地の意なりとする説とあり。

-(3)-

二、政治上の區分

馬來半島は海峽殖民地、馬來聯邦州及非馬來聯邦州(英領保護國)より成る、即ち左の如し。

- 一、海峽殖民地 (S.S.)
- イ、新嘉坡 (コ、ス島及クリスマス島を含む)

ロ、彼南(對岸ウエルスレー及ディンディンを含む)
 ハ、馬刺加
 ニ、ラプアン
 二、馬來聯邦州(F. M. S.)
 イ、ネグリセミラン州
 ロ、ペラ州
 ハ、セランゴール州(土候國)
 ニ、パハン州
 三、英領保護國(N. S. M. S.)
 イ、ジョホール王國
 ロ、ケダ

ハ、ケランタン(土候國)
 ニ、トレンガヌ
 ホ、ペルリス

三、統治機關

一、海峽殖民地の統治は英皇の親任せる總督(Governor)之を行ふ。總督は新嘉坡に在りて司法行政の諸機關を總轄し又兵馬の權を有す。
 翼贊機關として行政參議院(Executive Council)及立法會議(Legislative Council)を有し後者は一の立法機關たり。然れども事實に於ては議員の大半は官吏なるを以て專ら諮詢機關の觀あり。
 行政機關としては官房、民政、教育、衛生、獸醫の諸部と、土地、林務、財務、會



計検査、土木測地、華民保護、海軍、輸出入登録局、郵便、専賣等の諸局及病理研究所、分橋所、警察、監獄等あり。

地方行政は新嘉坡島に在りては、總督府直接之を管掌し、彼南及馬刺加には駐在官 (Resident) を置き、他の島嶼には島司を置く。駐在官廳の組織は總督府と略同一にして小規模なるものとす。又各地を市郡等に分ち各地方行政の一部を行ふ。司法機關は二級制にして又巡回裁判 (Magistrate) の制あり。

二、馬來聯邦の統治は高等監督官 (High Commissioner) たる海峡殖民地總督の任する處なるも、統治の實行者はセラネゴール州、コーランボに在る統監 (Chief Secretary) にして、統治機關は海峡殖民地と略同一なり。各州の行政は土候の任する處なるも、英駐在官之を指導し、實質に於て直轄殖民地と異なることなし。

—(6)—

三、英領保護國の統治は王又は土候英國顧問官 (Advisor) の參與に依りて之を行ひ、外交權は一切英國之を代表することとなり居れり。

四、新嘉坡概観

新嘉坡島は馬來半島の南端にあり、一葉帯水柔佛と相對す。東西二十六哩、南北十四哩の小島にして、新嘉坡は其南端に在り。

市街はフォート、カンニング丘を中心とし海岸に沿ひて四哩に展開し、街衢整然、殊に道路の完備東洋第一を以て誇るに足る。然れども點燈設備不十分にして尙ラムフを用ふる處少からず。

新嘉坡河市の中央を貫流し之が西方の地區をグダン (漢字土庫) *Geodan* より轉化せるものなり) と稱し商業の中心とも云ふべく、各國領事館を始め大會社、銀行等總て

—(7)—

此處に集中せり。

港灣は土庫の前面なる内外泊地と(防波堤により界す)西方タンジョン、バガー及ケツベル、ハイバー並に東方タンジョン、カトン及タンジョン、ルー方面とに分たる埠頭、船渠、倉庫等の施設は主としてタンジョン、バガー方面に集中し、東方は小舟艇に對する設備あるのみ。

日本人商店はハイストリート、ノースブリックロード、ミッドルロード方面に多くマライ、マラバ、ハイラムの三街には日本料理店、飲食店多し。

上流人士の住宅は多く郊外に在り。

五、氣候

大別して乾雨の二期とす。十月乃至三月即ち北東信風期間は雨期にして、他は乾期

なり。一年中に於ける湿度の差極めて少く、最高九〇最低七〇を出づること稀なり。各月の平均は八〇乃至八四の間にありて十二、一の兩月を最低とし五、六月を最高とす。

雨量は豊富にして年平均一〇〇吋、而して降雨は終日に互ること稀にして雨期と雖日本に於ける梅雨の如きものなく、數時間にて霽るゝを例とす。猛雨數時間連続すれば市内の一部に浸水を見るに到る。

風は常に微風あるも暴風なく又雷鳴多きも落雷少し、濕氣甚だ多し。

六、衛生

新嘉坡は位置殆ど赤道直下に位するも、衛生状態は比較的良好なり。道路の設備完全にして常に清潔に保持せられ水道亦完備す、但し水質は良好とは云ひ難し。便所は

毎朝之を掃除し汚物は市外一定の地に埋没す。
 土人及下級支那人間には常に少数の各種傳染病患者あるが如きも、マラリヤは市中にては殆ど之を見ず。デング熱は新來者の一度は犯さるゝ熱病なるも、數日にして全治し、免疫性となるが如し。要するに飲食、睡眠に相當の注意を拂ひ適度の運動を取れば健康上何等恐るゝに足らず。
 病院はゼネラルホスピタルの外慈善病院、癡狂院、癩病院、避病院、脚氣病院、産科院等あり。
 邦人經營の病院は同仁病院以下五あり。
 千九百二十一年に於ける平均一年間の死亡率千人につき三三・三〇
 出生率千人につき二九・四七
 死亡者千人中マラリヤ熱一六七、肺結核二二五、マラリヤ外の熱病二二〇。

七、人種、人口及宗教

新嘉坡は人種の博覽會と稱する如く殆ど世界各種の人種を網羅し、從て其混血兒も亦多く、目下新嘉坡市内に於て三十餘種の國語使用せらると云ふ。
 新嘉坡の人口は大正十一年英領馬來國勢調査によれば、

總人口	四二五、九二二
男	二八五、一七六
女	一四〇、七三六
之を人種別にすれば、	
支那人	三二七、四九一
馬來人	五八、五二〇
歐洲人	六、三三二
歐亞混血	五、四五二



印度人

三二、四五六

其他

五、七六三

在留邦人数は最近の調査によれば二、九六七名なり。

宗教は概ね左の如し。

支那人 儒佛混合

馬來人及瓜哇人 回教

印度人 ヒンズー教、回教、シーク教 歐洲人及歐亞混血兒 耶蘇教

半島の一部にはサカイ族と稱する土着の民族少数生存せり。

前記の如く支那人は當地住民の大部を占め、利を見るに敏なる彼等が長年月に互り扶殖せる経済上の勢力は偉大なるものあり。彼等は主として福建、廣東の二省及海南島より來れるものにして數代定住せるもの少からず、*Wahine Jone*の支那人を普通「*バ*、*南東*」と呼ぶ。下級支那人に到りては如何なる賤業にも甘んじて従事し、孜孜營々として利を見るに努む。當地に於ける車夫、船夫、便所掃除人等は殆ど支那人獨占の

有様なり。彼等はかかる賤業によりて若干の貯蓄を得ば小賣行商人となり、次に店主となり順次發展す。其精勵にして根氣強きこと到底一攫千金を夢想する日本人の及ぶ處にあらず。

馬來人、瓜哇人に到りては智識の程度甚だ低く、氣候の關係と天恵豐なる爲、衣食住に金錢を要すること少きと且は回教々儀の影響により、一般に怠惰にして貯蓄心なく、得れば直に散するの風あり。近時漸次文明の浸入により諸種の慾望に刺戟せられ稍勤勉の風をなすに到れり。自動車運転手は殆ど彼等の獨占の職業にして又彼等として最高尚に最収入の多き業なるも、多くは麻掃除、小使等に使用せられ居れり。

印度人は數種の種族より成り、皮膚最も黒く最下級なるタミール族(キリンと通稱す)は主として土工人夫となり、軀幹長大、容貌魁偉にして美膚を帯ふるシーク族(バシガリーと通稱す)は番人となり、テッチ族と稱する一種族は高利貸を業とするもの

多し。又機敏なる商業を奮むタミール族の一種あり。
歐亞混血兒はユーレンアンと通稱せられ、一般に下級事務員、書記、タイピスト等
を職とするもの多く、相當の教育を受けたもの多し。

一時我國に於て南進の聲高く、一攫千金を夢想する徒手空拳の青年の南洋に來るも
の多かりしも、或は暑熱に苦められ、或は病魔に犯され、意氣銷沈して一種無頼の徒
と化せるもの少からず。要するに當方面は邦人が勞働に於て優勝を占め得る北米と異
り、能率低しと雖も一日五十錢の勞働者雲集す、到底日本人は勞働に於て土人、支那
人の敵に非ざるなり。然れども獨眼の士大資本を擧げて活動せば猶無限の貨庫あり、
蓋し南進論は勞働に非ずして資本、人物の謂ならんか。

八、教育

—(14)—

各種官立私立の學校の内高等教育を授くるものとしては、エドワード七世醫學校あ
り。目下寄附金によりラツフルス、カレーチ新設計班中にて既に敷地の買入を了り遠
からず實現せらるべし。

官立學校はラツフルス、インステテュション。ウキクトリヤ、ブリッヂ、スクール。
アウト、ラム、スクール。ゲイラン、スクールの四校あり。

私立學校は宗教と關係を有するもの多し。其大なるものは、アングロチャイニース
スクール。コンヴェントスクール。聖アンドリウス、スクール。メソジストガールズ、
スクール。聖ジョセフ校等なり。

此外各種の土語學校あり、支那語を以て教育するもの非常に多く、支那人は此土語
學校と同郷人の設立する各地會館とを以て愛國教育を施す。

政廳の教育方針は、支那人、馬來人、歐亞人等の土着民族を以て標準とし、一般に

—(15)—

教育程度低し。近時教育令を發し取締を嚴にす。
日本人小學校の如く自國民のみの教育を目的とするもの亦少からず。
日本小學校は文部、外務兩大臣指定學校にして新嘉坡日本人會の經營する所にして
大正二年の設立に係るものなり。新嘉坡日本人會は在留青年の爲夜學校をも經營し居
り。

九、軍備

總督は兵馬の權を有し、其下に直接軍の指揮官たる陸軍司令官(少將)あり、司令部
をフォート、カンニングに置く。
陸軍の常備兵力は歩兵二個大隊を基幹とし、一は英本國より派遣せられたるMiddle
Sea 聯隊第二大隊にして市の西北 Tanglin Barrack に在り、他はビルマ兵より成り市の

西南方 Alexandra Barrack に在り。尙他にプロ、ブラネー島に駐屯する要港附屬の砲
工兵及附屬部隊若干あり。此外義勇軍の組織あり。
海軍の常備的兵力及艦船とてなきも、現に海軍用重油タンク十餘個建造中に居す。
陸軍司令官の幕僚として四名の海軍士官あり。
イ Senior Naval Officer 大 佐
ロ Resident Naval Officer 主計中佐
ハ Supervising Intelligence Officer 海兵少佐
ニ District Intelligence Officer 同
他に海軍所屬の無線電信所あり、所長は海軍少佐なり。

10、貿易

年 度	輸 入 額		輸 出 額	
	海峽殖民地	新嘉坡	海峽殖民地	新嘉坡
一九一九年	八二九	六六一	八五一	六八一
一九二〇年	一〇六四	八三三	八七九	六八二

三、英領馬來に於ける主なる輸出入品自大正十一年一月至十月(單位百萬弗)

輸 入 品 類	格 格	輸 出 品 類	格 格
石 炭	九 九	乾 魚	一 四
コ プ ラ	九 九	鹽	二 四
綿 布	二 九	米	二 二
綿 サ ロ ン 類	九 九	胡 椒	六 六
器 械 類	八 八	籐 蓆	五 五

- 一、新嘉坡に於ては特殊の輸出入禁制品、課税品及專賣品を除くの外凡て自由に無税輸出入をなし得る所謂自由貿易港なり。
- イ、輸出禁制品
- 1 コカイン 2 爆發物 3 銃砲類 4 黄麻(ジニート麻) 5 母雲 6 阿片 7 銀
- ロ、輸入禁制品
- 1 爆發藥類 2 銃砲類 3 刀劍其他の武器
- ハ、專賣品
- 1 阿片
- ニ、課税品
- 1 酒類 2 煙草
- 三、貿易額(單位百萬弗)

品目	輸入額	品目	輸出額
石炭	一、〇七四	護膜	一、二二五
綿布類	一八九	錫	一七五
木具類	二〇〇	鐵	七四
寸	一〇五	籐	七三

(註) 石炭は當地輸入の約半額を占む。

由來海峡殖民地は護膜の外特種の重要な生産品なしと雖、其背後に控ゆる馬來半島の大富源より多量の農産物を輸出するあり、又蘭領東印度、印度、暹洲及東洋各地間の中繼港なるを以て輸出入額大なりと雖も、海運の發達に伴ひ新嘉坡は漸次重要の度を減するならんと觀察するものなきに非ず。

一一、交通、通信

一、鐵道

新嘉坡を起點とし新嘉坡島を横斷してウッドランドに達し、聯絡船により馬來半島南端ジョホールバルに到り、之より半島西部を縱走して數條の支線を分岐しつゝ彼南に達し、更に暹羅盤谷に通ず。新嘉坡彼南間四八八哩急行一晝夜、彼南盤谷間七二三哩同く一晝夜半を要す。

半島東部を縱貫する鐵道目下工事中にて大部分竣工せるも未だ全通するに至らず。ウッドランド、ジョホールバル間は架橋工事中にて、一九二五年完成の豫定なり。海峡の幅約一〇〇〇米なり。

二、海運

昨大正十年中海峽殖民地出入船舶噸数は總計二五、〇五五、七九八噸にして、内

英	一三、四九四、〇五五	日	四、二六四、八六四
蘭	三、四一七、一九八	米	一、三五六、七九二
佛	一、〇五二、七六八	丁	三六九、八九〇
伊	二八五、五〇八	暹	二五六、九〇二

新嘉坡に寄港する主なる汽船左の如し。

イ、歐洲航路

- 1 日 郵船(三線)。商船。
- 2 英 ビーオー。青筒。エライマン。グレン、エンド、シヤイヤ。
- 3 佛 佛國郵船。シヤルグル、レニユー。
- 4 蘭 ネザーランド。

- 5 米 アドミラルライン。N. B. American line.
- 6 西 トランス、アトランチック。
- 7 丁 イースト、アジアチック。
- 8 伊 ロイド、トリエスチノ。
- 9 瑞典 スエヂツシユ、イースト、アジアチック。
- 10 獨逸 ノルデツシユ、ロイド、エンド、ハンバーク、アメリカン、ライン。

ロ、北米航路

- 1 日 郵船。商船(二線)。東洋(紐育行)。
- 2 英 エライマン(二線)。青筒。プリンス、ライン。ドッドウエル、ライン。カナチアン、パシフィック。
- 3 米 パシフィック、メール(二線)。グラブ、ライン。グリーン、スター、ラ

イン。ニューナイテッド、アメリカ、ライン。アメリカン、オリエンタル
ライン。

4 加奈陀 カナチアン、ガヴァーンメント、マーチャント、マリン。

ハ、南米航路

1 日 郵船。商船。

ニ、孟買航路

1 日 郵船。商船。

2 英 ビーオー。

ホ、カルカッタ、蘭貨航路

1 日 郵船。商船。

2 英 インド、チャイナ。ブリチツジュ、インチャ。アブカー、ライン。

3 米 パシフィック、メール。シアン、ライン。外二

ヘ、濠洲航路

1 英 西濠ライン。パリンズ、ファイル、ライン。青筒。

2 蘭 ロイヤル、バケツト。

ト、日本、支那航路

1 日 商船。

2 英 ベン、ライン。

3 佛 佛國郵船。サイゴン、スチームシップ。外一

チ、近海沿岸航路

1 蘭領東印度間はロイヤル、バケツト(蘭)殆ど獨占

2 馬來半島各地間はストレット、スチームシップ(英)殆ど獨占

3 大阪商船は暹羅、瓜哇、新嘉坡間及スマトラ、新嘉坡、西貢、香港、臺灣間の航路を經營す。

三、新嘉坡市内交通機關

イ、自動車

道路の設備良好なると、上流人士は郊外に住宅を營むもの多きとにより、自動車の利用せらるゝこと多く約五〇〇〇臺あり。貸自動車亦多く日本人經營のもの數ヶ所あり。一時間三弗を例とす。

ロ、電車

市内の一部に電車を運轉す、土人、支那下級民の利用するもの多し。

ハ、馬車

市内各所にありと雖、自動車の爲壓倒せられ需要比較的少し。

ニ、人力車

市内到る處殆ど無數に在り、半哩六仙にして普通十分間十五仙位の割合なり。車夫に命じて未知の地に到らんことは全く不可能にて、自ら左右等を指示せざるべからず。

ホ、右の外モーターローリー(乗客用、荷物運搬用)及牛車(荷物用)亦多し。

四、郵便料 (一九二二年十月より實施)

イ、外國行封書	一二仙	葉書	八仙
ロ、馬來半島及英領北ボルネオ	五仙	同	四仙
ハ、右以外の英領各地	六仙	同	四仙
ニ、印刷物は各地共	三仙		
五、電報料			

イ、半島内は一語(十五字以内)三仙最少料金二仙、至急電は三倍、政廳郵便局にて取扱ふ。
 ロ、外國宛は距離によりて差あり、日本行は一語一弗とす、大東電信會社(B. E. A. & C. T. Co.)にて取扱ふ。
 ハ、公衆用無線電信は一語四〇仙、政廳郵便局にて取扱ふ。

一二、通貨

當地の通貨は英貨二志四片を以て一弗とす、即ち六〇弗は七磅に相當す。紙幣、貨幣の種類は略日本に同じ。
 日本貨との關係は時々相場に變更あるも現時一弗は邦貨一圓十錢見當なり。

一三、港灣

一、港界

タンジョンカトン方尖碑よりビーク島方尖碑に至り、同碑より東西セントジョンズ島の南角に觸れセバロク島の南角に達し、之を通ずる東西線と北方サイレンリーフ西方浮標を通ずる南北線と合し、更に北行して新嘉坡島に達し、海岸に沿うてタンジョンカトン方尖碑に復歸す。

二、港灣設備

港灣設備は彼阿會社所屬棧橋の外總て官營にして港務部の經營に屬す。

イ、埠頭

埠頭名	長(呎)	水深(呎)	記事
1 東埠頭	九五五	二五	
	二九〇	三〇	

1	ヤングス	八七九	二二六	三四	要すれば中央にて區劃す
2	主埠頭	五二〇	一七		
3	湯船渠	三五二(周)	三〇		面積二四エーカー半 要すれば水深三三
4	西埠頭	一一三〇	三三		
5	ジャーン埠頭	三二八	二五		
6	シーヤス埠頭	三三〇	二五—三〇		
7	テロツク、アエ埠頭	四一四〇	一六乃至一八に淺瀬中		(タイダルベージン) 面積一〇エーカー
8	石炭専用埠頭	二〇〇	三〇		プロブラニー島にあり
ロ	船渠				

2 アルバート 四八六 六〇 二二
 2 ヴイクトリア 四六七 六五 二〇
 4 第一 四〇〇 五〇 一五
 5 第二 四五四 六四 一九

(備考) 一昨年六月馬刺加海峡にて衝突せる郵船横濱丸と大阪商船印度丸とは共にキングストックに入渠修理を行へり、是を日本商船入渠の始とす。但し戦時中軍艦は多数入渠せり。

ハ、軌道
 乗客は市の中央なるタンクロード停車場を終點とするも、貨物用軌道はケツベルハーバー迄通ず。
 機關車九、貨車二〇〇餘あり。



ニ、曳船、運貨船
曳船は大型五、中型二、小型六、計十三隻にして、最大のもの三三噸、二八馬力なり。
運貨船は、鐵製七五噸二〇隻、木製五〇噸三〇隻、同三〇噸三五隻、同二〇噸一〇隻、計九五隻あり。
此他に港務局以外支那人の所有にかゝる舢舨六〇〇、印度人所有のもの約二〇〇あり。總搭載量約二萬噸なり。

(註) 統計によれば新嘉坡一ヶ月間の貨物揚卸量は埠頭横付のもの約二〇萬、沖荷役のもの約九〇萬噸なり。

ホ、倉庫
埠頭倉庫計四棟、間口一〇〇乃至二五〇、奥行五〇乃至一五〇呎、總面積九五

萬平方呎、石炭二〇萬噸を容るゝに足る。他に保管倉庫、保税倉庫、阿片倉庫、危險品倉庫等計十餘棟あり。

ハ、給水

埠頭留置船に對する給水は鐵管により行ひ、噸一弗港務部の所管なるも、沖掛り船に對しては W. Tammar & Co. の給水船に依る(噸一弗六十仙)。目下給水船九隻あり、Aを以て信號とす。

ト、給炭

貯炭所は主としてタンジョンバガー方面にありて約二〇萬噸の貯蔵設備あり(平常貯在量は一〇萬内外ならん)。貯炭は棧橋及沖積の二法あり、普通海軍艦船は三井又は三菱の手により沖積をなすを例とす。又タンジョンカトン沖に貯炭浮倉庫あり。

三、水先案内
目下一〇名あり、港務局構内に水先案内事務所を有す。強制には非ざるもタンジョンバガー及ケツベルハーバー方面に到るには之を備聘するを例とす。

四、信號及報時球禮砲等
フォートカニング及マウントフェニーバーにあり、船舶の出入其他の信號をなし、午後一時には報時球を垂下す。禮砲及午砲(日曜には午後一時はフォートカニングにて行ふ)。

五、造修設備
港務局經營の造修設備は前記船渠に附屬するも修理のみを行ひ建造を行はず(但し前出大型曳船三二三噸の「MIMI」は當地にて製造せられたるものなり。修理能力は相當大にしてシャフト鑄造等を行ひたることあり)。

右以外私營の造船所、鐵工場は白人、日本人、支那人等七ヶ所あれども「MIMI」は「MIMI」会社の外は何れも小規模のものなり。同社はタンジョンルーに造船所を有し、目下小舟艇の製造修理のみをなし居るも、七四〇噸以下の汽船五隻を建造せる歴史を有す。

六、港則拔率(軍艦に關係あるもののみ)

イ、軍艦錨地 ヴイクトリア、メモリアルホルの北端とフォートカニング旗竿を連ねたる北五四西の線上防波堤外とす。

ロ、ジョンストンビヤードより三百呎以内の區域内は諸船艇の碇泊を禁ず。

ハ、小蒸汽船は突堤、岩壁、上陸梯、棧橋等に沿うて航行する時は徐行するを要す。

ニ、棧橋上に逍遙することを禁ず。

ホ、浮標又は航路標に船艇を繫留するを得ず。

へ、當港内に在る船舶は危險信號の場合若は衝突を避くる場合の外汽笛、警笛其他の發聲器を鳴らすことを禁ず。

ト、當港内に在る軍艦、商船其他の艦船長は港務部長官の許可なくして探照燈投射器を照らすことを得ず。

チ、民政長官 (Colonial Secretary) の許可なくして武裝せる外國軍人は上陸するを得ず、但し左の場合を除く。

- 1 祝儀、葬儀に参列する士官。
- 2 吊砲を發放する爲上陸する軍隊。

リ、外國軍艦の乗組兵員は武裝せざる限り上陸を許す。但し一艦より百名以上上陸する時は民政長官の許可を要す。

ヌ、甲板にて可燃性の物質を焚くことを禁ず。

一四、在留邦人の情況

一、主なる職業別次表の如し。(十一年六月末日調)

大正十一年六月末現在

英領馬來半島在留日本人(職業別は本業者及家族を含む)

職業別	新嘉坡		新嘉坡 以外の馬來半島		合 計	
	男	女	男	女	男	女
護國栽培業(従業員を含む)	10	4	11	10	21	20
農(椰子等)園藝、牧畜、養蠶業(椰子等)従業員を含む)	3	3	8	3	11	6
漁業(漁業労働者を含む)	17	4	3	1	20	5
計	30	11	22	14	52	25

貿易各支店、千田商會(本店) 以上土庫方面
三、主なる旅館
碩田館、日本ホテル、(以上海岸通) 東洋ホテル、(ミッドル路)
宿泊料五弗乃至八弗
四、主なる料理店
星洲樓(海岸通)、新喜樂、東家、月廻家(馬來街)
五、護謨栽培事業
英領馬來半島に於ける産業は、英國官憲の傳統的自由主義と、天賦の恩恵に浴して
爾來長足の進展をなし其内容は頗る廣汎に亘ると雖、其代表的産物としては護謨及錫
を以て二大宗とす。護謨は野生樹より原始的方法により採集せしものもあれども、其
數量尠少にして大部分は栽培せるパラ護謨樹(Parewa Bantianang)より搾出加工せる

原料品なり。
現在の植付總面積は正確なる統計を缺き其實積を明にすべからざるも、面積統計百
八十一萬英反年産額總計十七萬五千噸を基本數字とせられ、世界總産量の約六割強に
相當す。從て護謨界の形勢は馬來半島斯業者の向背如何に依り處決せらるゝ狀勢にあ
りと云ふべし。邦人の錫鑛業に従事する向は微々として振はず實績の特筆するに足る
もの無き状態なれども護謨栽培事業は我國海外投資の第一位を占め投資總額金四千五
百萬圓を計上し租借地積十五萬英反植付面積十三萬英反年産額千五百萬封度に達す。
邦人經營の護謨園は創業日尙淺きも、克く先進國人の長を採り合理的施設の下に著
々向上進展しつゝあるを以て、産額も漸次増大し茲數年を出でつて年産額は倍加し
三千萬封度に達すべく期待せらる。戰後世界的産業不振は遂に護謨價をも低落せしめ
過去二ヶ年間斯業者は一律に經營困難に陥りしも、經費大緊縮を敢行して生産費の低

下に努め、克く困苦に堪へて財界復活護謨界の見直りを待ちつゝありしが、一九二三年十一月一日より實施を聲明せし英國統治圏内に於ける護謨輸出制限條令は、世界の滯貨を消化し盡すべく期待せられ、市價頗る向上し斯界は著しく活氣を呈し來れり。邦人所有の主なるものを擧れば左の如し。

社名	國名	總面積	國主又は社主
三五公司	ベトナム第一	九、八七七	國主又は社主
同	ベトナム第二	四、三二五	愛久澤直哉
株式會社	文島	三、三六二	森村開作
南亞公司	暹羅	一、〇四九	川田鷹
熱帯産業株式會社	暹羅	二、〇六三	
熱帯産業株式會社	暹羅	二、〇六三	

日東護謨株式會社	ラオス	三、四八九	小野駿一
株式會社	ラオス	九、七五四	中澤義一
株式會社	ラオス	一、九〇〇	岡部常太郎
株式會社	ラオス	一、四五〇	藤田彦三郎
株式會社	ラオス	一、五九九	長野善五郎
株式會社	ラオス	八、四〇七	四倉峯雄
株式會社	ラオス	三、〇八八	朝永誠三
株式會社	ラオス	一、〇七〇	渡邊勝家
株式會社	ラオス	三、三七二	
株式會社	ラオス	約四、〇〇〇	



南洋護謨 拓殖會社 馬來護謨 公 司	砂 園	二、一六三	野村 徳七
日新護謨 株式會社	一七、二三三	脇 田 勇	
日新護謨	一〇、四二二	男爵中島久萬吉	
秋田護謨園	五六六	秋田 木一	
速水護謨園	一〇、一〇〇	速水 捨三郎	
島島農園	一〇、一九	小西 壽一	
菅原護謨園	六〇八	菅 原 清	
城野農園	二、三三二	城野 昌三	
田尻護謨園	一〇〇	田尻 才六	
山下護謨園	一〇〇	山下 千代志	

大貫護謨園	一、〇五〇	大貫 公光
千田護謨園	三、六五〇	千田 半斐太郎
鈴木護謨園	二、三二六	鈴木 審三
南進公司 (スシケイ) 護謨園	一、七〇〇	平 沼 亮三
眞植護謨園	五〇〇	松本良三郎
高橋護謨園	五、一五	高橋 忠平
福田護謨園	二、五〇	福田 太一
大平護謨園	五二	大平 源四

馬來半島に於て初めて護謨栽培に着手せるは一八九五年にして、日本人の最初本事業に手を出したるは一九〇二年なり。

六、柔佛王國パトバハ鐵礦



南洋鑛業公司なる合資会社の經營する事業にして石原廣一郎氏事業擔當者なり。一昨々年十二月創業以來大正十年後に於て鐵鑛約七萬五千噸を八幡製鐵所に送り。幸に日本より當方面に來る石炭運搬船の復航を利用し得るを以て運賃比較的低廉なり。鑛質は主として赤鐵鑛にして約六五%以上の鐵分を含有す。邦人三十六名、支那人、馬來人約千名之に従事し居れり。

一五、總領事館及在留邦人各種團體等

一、總領事館
總領事、副領事、書記生四、通譯生一
商務官、商務書記生二
逓信局技師海事官

—(48)—

二、商品陳列館

南洋協會の事業にして我商品の紹介を目的とするも、現時は主として南洋の經濟的調査に従事し居れり。從來副事業として學生の養成を行ひ、恰も上海に於ける同文書院の如くなさん計畫なりしも、經費の都合上廢止せるは遺憾なり。

三、日本人會

在留邦人の親和及公益増進を目的とす。目下會員約一千名にして會員の會費負擔額を八弗より五十仙に至る七級に別つ、他に銀行會社等を贊助會員とす。小學校の經營を最大事業とし、艦隊の歡迎等も主として本會の斡旋による。ウォーターゲート街小學校内に事務所を有し常任書記四名あり。

四、日本人栽培協會

大正元年の創立に係り、邦人護謨栽培家の大部分を會員とし相互の親睦を圖り、採

—(49)—

長補短に資し、對外關係其他會員一致の行動を採り良好なる成績を挙げつゝあり。其事務所は新嘉坡ソフアイヤロード第四號にあり。

五、日本人實業協會

在留邦人商工業者共同の利益を増進し各自の親睦を厚ふするの目的にして次の如き事業を行ふ。取引上必要な信用調査、商工業に關係ある法制の調査、商工業に關係ある時事問題の研究、官憲其他に對する必要な交渉、取引上に於ける紛議の仲裁其他必要な事項。事務所は新嘉坡商品陳列館内にあり。

六、日本人小學校

市内ウオートル街に在り、大正十年八月三十一日天長の佳節を以て落成式を舉ぐ總費用八萬餘弗なり。目下教員七名生徒百二十四名あり。

七、日本人俱樂部

日本人會附屬にして在留邦人を以て組織し、會員相互の向上親睦を図るを以て目的とす。北橋路に宏大なる會館を有し、柔道、拳闘、擊劍、角力、大弓、テニス、ピンポン、球奕等の體育、娯樂機關及簡易食堂、風呂等の設備あり。講演會、展覽會、祝賀會等の一般集會に使用せらるゝこと多し。海軍艦船入港中は下士官兵の休憩所として提供せらるゝを例とす。

八、土曜會

諸會社、銀行員中の主なるもの二十餘名の會にて、毎土曜日ラツフルスホテルに於て午餐を共にし意見を交換する一社交機關なり。別に會長としてなく輪番幹事幹旋の勞を執る。

九、右の外木曜會、キヤメラ俱樂部、南進俱樂部、及各種同業者、同業者、同縣人等の會の外野球團及庭球團あり。

十、日本人墓地

市の東北約七哩のユー、テユー、カン路にあり、地内に西有寺と稱する寺院及火葬場あり。第三十五期候補生磯谷外作及水兵一名の墓あり、日本人會の經營に屬す。又市内には西有寺出張所、本願寺及日蓮宗の布教所、基督教會等あり。

一六、各國領事館

目下新嘉坡にある領事館左の如し。

總領事館 日、米、支、蘭、暹、(伯)

領事館 (葡)、(丁)、佛、(露)、葡、(西)、(秘)、(瑞西)、伊、瑞典

(註) 括弧内は名譽領事館

一七、主なるホテル及デパートメントストア

一、ホテル

Raffles Hotel, Hotel de Europe, Adelphi Hotel (以上英)

Hotel Van Wijck (蘭)

一泊料、八九弗乃至十二三弗

上海樓、船海樓(支那料理)

二、デパートメントストア

John Little, Whiteaway, Robinson,

三、劇場

Victoria Theatre, (歐風)

Theatre Royal, (馬來)

四、活動寫眞

Alhambra, Gaiety, Surina 等

一八、内外新聞雜誌

當地發行之新聞其他左の如し。

一、英字新聞

- 1, Straits Times,
- 2, Singapore Free Press,
- 4, Malaya Tribune,
- 4, Malayan Review, (週刊)
- 二、日本新聞
- 1 南洋日日新聞

2 南洋及日本人(月二回發行雜誌)

三、支那語新聞

- 1 南洋總匯新報(中立)
 - 2 新國民日報(孫逸仙派)
 - 3 叻報(陸榮廷派)
- 四、馬來語新聞
- 1, Utusan Malaya,

右の外商品陳列館より月刊「南洋經濟時報」を發行す。

一九、近郊遊覽所

當地訪問者の普通に遊覽する所左の如し。

一、博物館 市内約中央にあり、當方面に於ける各種天産物及風俗等の参考品を網羅せり。

二、植物園 郊外にあり、熱帯植物を蒐集し園内清浄にして薄暮散策の好適地なり

三、水源池 植物園の北方にあり、位置塵界を離れ幽邃にして月夜納涼に好し。

四、タンジョンカトン方面 市の東方にして、白砂の上椰子樹繁茂し海岸に近くホテルあり、海水浴場あり、日本人旅館數軒あり。

五、パシルバンジャン ケツベルハーバー西方特に風光の美なきも閑靜なる護謨林中をドライブする亦一の避暑地なり。

六、チャング 新嘉坡島の北西隅にあり、ジョホール海峡に臨みプロウビン、プロテツコンを隔て、ジョホール州を眺む。日本人旅館ありて魚釣の設備あり、日曜日等相當の遊覧者あり。

七、ジョホールバル 少しく離れたる處なるも亦新嘉坡寄港者の多く訪ふ處なり
ジョホール王國主府にして王宮、回教寺院(モスク)其他見るべきものあり。近年まで有名なる公許賭博場ありしも今は禁止せられたり。新嘉坡より汽車約一時間にて送するを得べし。

右の外日新護謨國及日本人墓地等も多く日本人の訪ふ處なり。

二〇、土産物

交通の便なる當今特に一地に特有の土産物と稱するが如きもの少しと雖、當地は自由貿易港なる關係上比較的廉價なるものあり。普通左記諸品は土産物として邦人に購買せらるゝものなり。

一、藤杖、椅子其他藤細工

- 二、果物及其鑑詰
- 三、更紗織物
- 四、レース
- 五、和服用アルバカ地
- 六、熱帯木細工物
- 七、動物及其剥製
- 八、ルビー其他寶石類

婦人向

新嘉坡概要(終)

-(68)-

訂正
 新嘉坡全島略圖中バタム群島とあるは、プロコム群島の誤
 なり、プロコム群島は英領にして亞細亞石油会社の石油タ
 ンクあり